蔵持市民センターだより

2026年
11月号
No.515

編集・発行 蔵持市民センター　Tel/fax 0595-63-0235　HP https://www.emachi-nabari.jp/kuramochi

蔵持市民センター事務所開所時間	平日 9:00～16:00 ※左記時間外の対応の方は予めご連絡ください。

今日の蔵持の何気ない風景

舞姫と獅子神楽が彩る
蔵持の秋祭り

#蔵持の伝統 #宵宮祭 #例大祭



写真提供：西山壽一さん

10月10日 春日神社にて

地域　提灯の明かりに舞う蔵持の伝統✨ ～宵宮祭・例大祭～

春日神社・蔵持獅子神楽保存会

10月10日（土）、11日（日）の2日間、春日神社（蔵持町原出）で宵宮と例大祭が行われました。提灯が灯る境内では、舞姫の優雅な舞と、間近で見る獅子神楽の迫力を楽しむことができました。今回は、舞姫の舞と獅子神楽を境内で披露する初めての試みも。お囃子を奏でる人、舞う人、見守る人が同じ場所に集い、蔵持のお祭りのひとときを共にしました。

蔵持町原出にお住いの高嶋さんと息子さんたち、緑が丘にお住いの高山さんと娘さんの親子共演もあり、世代を越えて伝統を受け継ぐ姿が見られました。今年は小さな子が目玉親父に扮して参加する、ほほ笑ましい場面も。舞を披露する真剣な表情や、親子で並ぶ笑顔から、お祭りに関わる楽しさも伝わってきます。

かつては参加できる地区や性別に限りがありましたが、今では原出だけでなく緑が丘の子どもや、女の子も参加しています。天狗を務めるのは小学3年生ぐらいからですが、それより幼い頃から毎年足を運んでくれる子もいるそうです。

「子どもたちに地域の行事に興味を持ってほしい。男女問わず、やってみたい人が来てくれたら」と保存会会長の久保田さん。他にはない、昔ながらの3体の獅子舞で回せるようになることが願いです。練習は本番の約1か月前から。時間をかけて身につける舞と、地域で受け継いできた伝統を、次の世代へつないでいきたい。その言葉には、切実な思いが込められていました。

獅子舞と天狗が家やお店を訪ねる「村回し」も、地域との大切なつながりです。厄よけや商売繁盛、健康、子どもの健やかな成長を願い、出産など、ご家庭のお祝いにも来てもらえるそうです。

「みんなで盛り上げ、守っていこうと思ってもらえれば嬉しい」。まずは見に行くことから、蔵持の伝統に触れてみませんか。





写真提供：西山壽一さん



高嶋さん親子